

理学療法と作業療法 第10巻 総目次 () は号数

(1976 年 第 1—12 号)

〔と び ら〕

むんてら……………丸田 和夫……	2(1)
チーム・ワークへの思い……………木村 信子……	82(2)
地域へ踏み出す……………森永 憲子……	170(3)
理学療法の原点／自己批判の書…田口 順子……	250(4)
義肢・装具の周辺とその動き……沢村 誠志……	334(5)
義足とのつきあい……………細田 多穂……	418(6)
褥創管理の自立……………今村 哲夫……	490(7)
O. T. の広がりと中心を求めて—	
Aさんの体験から……………佐々木光子……	570(8)
精神科OTに携わること……………大丸 幸……	662(9)
学会と私……………関 昌家……	738(10)
P T と老人福祉……………濱島 良知……	814(11)

〔特 集〕

PT・OT におけるリスクとその対策

運動療法におけるリスクとその対	
策(小児の場合)……………江原 定吉……	5(1)
運動療法におけるリスクとその対	
策(成人・老人)……………駒沢 治夫……	13(1)
物理療法におけるリスクとその対	
策……………和才 嘉昭……	19(1)
身障作業療法におけるリスクとそ	
の対策……………池田 俊雄……	27(1)
精神科作業療法におけるリスクと	
その対策……………関 京子……	31(1)
心疾患のリハビリテーションにお	
けるリスクとその対策	
木村 登・高山 一成・田代 寛美……	37(1)
呼吸器疾患におけるリスクとその	
対策……………古賀良平・溝呂木 忠……	45(1)
整形外科的疾患から	
ミルウォーキーブレースを用いた	
場合の理学療法……………深沢 弘……	85(2)
ペルテス病の運動療法(当園にお	
ける管理体系に基づいて) ……小島 裕……	93(2)
斜頸(筋性斜頸の治療, 最近の動	
向と理学療法) ……増川 一郎……	101(2)
麻痺上肢の機能再建術とOT……椎名喜美子……	109(2)

変形性頸椎症

富士本隆文・高橋 長・板場 英行

毛利 陽子・高橋 正則・西田 洋子… 119(2)

診療記録

当院リハビリテーション部診療記

録の紹介 (POS 導入の経験)

谷内 文子・牧田 光代・丸田外美江… 173(3)

コンピューターを利用した診療記

録 (OT の立場から) ……長尾 哲男… 179(3)

精神科の診療記録……………里村 恵子… 189(3)

事故報告書の書き方……………奈良 勲… 195(3)

座談会／診療記録の教育

(司会)鈴木 明子・武富 由雄・菊地 延子

嶋田 智明・広沢美佐子・山田 瑞子… 200(3)

精神薄弱

精神遅滞の成因と診断……………佐々木正美… 253(4)

精神薄弱児における運動発達遅

滞……………岸本 敬吉… 267(4)

精神薄弱の理学療法

菊地 延子・土田 精・黒川 幸雄

高橋のり子・松山 照美・前田 哲男… 273(4)

精神薄弱の作業療法……………浅海 捷司… 283(4)

精神薄弱の職業問題……………室橋 正明… 291(4)

精神薄弱者(児)の行動変容理論—

特にオペラント原理の適用を

めぐる展望と課題……………東 正… 297(4)

精神薄弱児の治療——ディケアの

経験から……………太田 昌孝… 304(4)

<随想>

精薄福祉の現状と課題……………中村 健二… 265(4)

精神薄弱児医療の現状とその課

題……………菅 修… 266(4)

精神薄弱医療の現状と課題……………高橋 彰彦… 266(4)

精神薄弱に対するセラピー……………鷺田 孝保… 272(4)

精薄治療の現状と課題……………河村 光俊… 281(4)

ICU

CCU の機構と機能について ……下村 克朗… 337(5)

ICU における呼吸管理(主とし

て術前・術後) ……芳賀 敏彦… 343(5)

心筋硬塞の CCU における理学療

法	石橋 朝子	349(5)
ICU における慢性閉塞性肺疾患 の理学療法	藤谷 尚子・鮎沢 芳穂・大内 啓子 藤本 善一	357(5)
脳外科 ICU における理学療法 (特に頭部外傷を伴う頸椎損 傷に対して) …江原 定吉・北目 茂 佐藤 淳子・上和田裕美		367(5)
頭部外傷と PT・OT		
頭部外傷の分類と診断・治療	竹内 一夫	421(6)
頭部外傷の救急処置と後遺症対策	西村 謙一	429(6)
頭部外傷のリハビリテーション	三好 正堂・高山 利和・太田 主計 内田 健二	435(6)
頭部外傷の理学療法	板場 英行・富士本隆文	443(6)
頭部外傷の作業療法の実践	影山 滋久	451(6)
義 肢		
本邦における義肢の変遷と現状に おける問題点	加倉井周一	493(7)
筋電々動義手に対する訓練	高梨美和子・関 美佐子	501(7)
上肢切断術直後に対する OT の役割	塚口 紀子・大喜多 潤・福本久仁子 松田 美穂・清宮 良昭	507(7)
大腿切断における術直後義肢装着 法の訓練	福田 光祐・鶴見 隆正・鈴木 洋子	513(7)
骨格義肢の装着前、装着後の訓練	鈴木 康三・武富 由雄	521(7)
研 究 法		
治療効果の判定	佐久間 昭	573(8)
研究テーマの見つけ方	OT の臨床研究	生田 宗博 579(8)
日々の仕事の中からテーマが生 まれる	伊東 元	584(8)
思いつき、疑問を研究可能な設 問に	鎌倉 矩子	586(8)
哲学的観点から	奈良 勲	588(8)
できることから手がけること	大丸 幸	590(8)
まず疑問をもつこと	佐藤 剛	593(8)
週に 1 日の研究日を設けること (私の経験も含めて)	渡辺 洋	596(8)

症例研究の仕方—1 例報告や少数 例報告の場合—	竹谷 春逸	599(8)
症例研究の仕方	古川 宏	603(8)
アンケート調査の現状と問題点	副田 義也	608(8)
論文の書き方	寺山久美子	614(8)
英語での論文の書き方	鈴木 明子	619(8)
座談会／研究法 (司会)上田 敏・大喜多 潤・細田 多穂 古川 昭人・松村 秩・金子 翼 古川 良三		620(8)
資料／研究法に関する文献	寺山久美子	631(8)
難 病		
Introductory Remark	荻島 秀男	665(9)
多発性硬化症	三好 正堂	667(9)
筋萎縮性側索硬化症	長野泰甫・椿 忠雄	670(9)
スモン	中島 洋明・井形 昭弘	673(9)
重症筋無力症(概説, 診療, 生活 指導, リハビリテーション)	宇尾野公義・花籠 良一・半田 健寿	677(9)
悪性関節リウマチ	東 威	683(9)
紅斑性狼瘡	本間 光夫	687(9)
強皮症	石川 英一・田村多絵子	691(9)
多発性筋炎・皮膚筋炎	朝長 正徳	695(9)
パーチェット病	稲葉 午朗・青山 順子・清水 保	700(9)
血友病	長尾 大	707(9)
職業的リハビリテーション		
職業リハビリテーションの概念と 体系	小島 啓子	741(10)
両上肢切断者の職業復帰	古川宏・寺沢節子	749(10)
両下肢切断者の職業復帰まで— 一例の追跡調査からの検討—	三橋 保雄	755(10)
脳性麻痺の職業的リハビリテーシ ョンと作業療法	田中 堅	765(10)
座談会／不況下における身障者雇 用の方向性 (司会)小川 恵子・尾崎 三郎・沢田 鎮雄 井出 博・大木 勉・奥野ふみ子		772(10)
<随想> 国立リハビリテーションセンター の構想—特に職業的リハビリ テーションを中心として—	橋倉 一裕	762(10)
福祉工場・授産施設の当面の課題	松井 亮輔	764(10)
ともしび運動について	芝 敬	764(10)

わが国の PT・OT の歴史

戦前の理学療法の歴史 (PT 法成

立以前)	保田 良彦	817(11)
理療法の歴史 (PT 法成立以後)	松村 秩	827(11)
身体障害作業療法の歴史	小川 恵子	833(11)
精神科作業療法の歴史	菅 修	837(11)
理学療法士法及び作業療法士法の歴史	芳賀 敏彦	843(11)
<随想>		
児童のリハビリテーションに想		
う	山田 瑞子	825(11)
物療の歴史	田中 国則	826(11)
わが国の PT・OT の歴史	浅野 達雄	842(11)
柔道整復師の歴史と理学療法士		
への道	山口 二郎	848(11)
PT・OT の歴史	和才 嘉昭	849(11)
わが国の PT・OT の歴史	松本 妙子	849(11)

運動療法

特集にあたって……………編集委員会… 905(12)

I. 総論

運動療法の発展とその展望	松村 秩	906(12)
運動療法の基本	谷岡 淳	921(12)

II. 中枢性麻痺に対する運動療法

A. 運動の中枢機構

概説—随意運動の生理	大島 知一	931(12)
脊髄レベルでの運動制御	明石 謙	939(12)

B. 中枢性麻痺の病態生理

片麻痺の病態生理	上田 敏	944(12)
脳性麻痺の神経生理	中村 隆一	952(12)

C. 中枢性麻痺の運動療法

脳卒中の運動療法	奈良 勲	961(12)
脳卒中の機能的作業療法	鎌倉 矩子	969(12)
脳性麻痺の運動療法 (神経発達学的治療アプローチ)	今川 忠男	981(12)
脳性麻痺の機能的作業療法	佐藤 剛・戸島万里子	991(12)
脊髄損傷の運動療法	炭竈 弘俊	1005(12)

III. 失調症・パーキンソンニズムに対する運動療法

失調症の基礎	中村 隆一	1013(12)
パーキンソン症候群の基礎	中村 隆一	1021(12)
失調症, パーキンソンニズムの理学療法	駒沢 治夫	1027(12)
パーキンソンニズム・失調症の作業療法	森山 早苗	1035(12)

IV. 末梢麻痺に対する運動療法

末梢神経まひの基礎	初山 泰弘	1045(12)
末梢神経麻痺の理学療法	細田 多穂	1055(12)

V. 筋疾患に対する運動療法

筋肉の構造と収縮機構	大井 淑雄	1063(12)
筋疾患の病理	野島 元雄	1076(12)
筋疾患の運動療法 (特に小児の筋疾患に対しての Play Therapy を中心として)	菊地延子・他	1091(12)

VI. 骨・関節の運動療法

骨・関節の生理	林 泰史	1102(12)
関節炎の運動療法	武富 由雄	1114(12)
骨折の運動療法	武富 由雄	1120(12)

VII. 疼痛に対する運動療法

疼痛に対する運動療法 (痛みとその対策)	和才 嘉昭	1125(12)
----------------------	-------	----------

VIII. 内部疾患に対する運動療法

呼吸器疾患の運動療法	蒲田英明・谷本晋一	1136(12)
心筋硬塞 (冠動脈疾患) の運動療法	荻島 秀男	1143(12)

IX. 座談会/運動療法の現状と問題点

(司会) 荻島 秀男・嶋田 智明・斎藤 延男 生田 宗博・濱島 良知・松葉 正子 野々垣嘉男		1148(12)
--	--	----------

<随想>

運動学と作業療法	田川 義勝	920(12)
運動療法の展開	ポール・アンドリュース	968(12)
運動療法について	江原 皓吉	1004(12)
運動療法と心理技法	金子 翼	1012(12)
運動療法と OT とのつながり	矢谷 令子	1026(12)
運動療法のこと	中屋 久長	1101(12)

Cultural Aspects of Therapeutic

Activities	Sheila Marjoribanks	1113(12)
------------	---------------------	----------

<資料>

本誌に掲載された「運動療法」に関する文献 (除本号)		1161(12)
----------------------------	--	----------

〔展 望〕

POS について	郡司 篤晃	53(1)
----------	-------	-------

〔講 座〕

統計学(1)	中司 利一	127(2)
〃 (2)	生川 善雄	213(3)
〃 (3)	渡辺 健郎	375(5)
運動学シリーズⅢ		

手の運動学 (その1: 手の動作 とその基礎)	鎌倉 矩子	133(2)
" (その2: リハビリ テーション工学からのアプロ ーチ)	田中 繁	219(3)
" (その3: 手の動作 と筋の働き)	矢崎 潔	385(5)
運動学シリーズIV		
股関節の運動学(1)	谷岡 淳	457(6)
" (2)	谷岡 淳	527(7)
" (3)	谷岡 淳	789(10)

〔研究と報告〕

グループ活動の検討	大丸 幸	163(2)
大腿四頭筋筋力増強における Isokinetic Exercise と Isometric Exercise との効果の実験的 比較	嶋田 智明	228(3)
Isokinetic exercise の概念と exercise machine の応用 島田 孝・谷岡 淳・倉石 健二 津久井まり子・大井 淑雄		237(3)
遊脚相コントロール義足の評価 (空気シリンダー H.R.C. の使 用経験より)	鈴木重行・他	317(4)
高血圧脳出血患者のリハビリテーション (外科治療46症例のリハビリテ ーション成績とその問題点) 伊藤日出男・松橋 一義・原子 健 浅利 正雄		407(5)
指椎間距離 (肩関節可動域測定の一 つとして) 今井 至・佐々木美代治・大河内英子 稲川 勝義・武富由雄		541(7)
老人の骨折における諸問題 須崎 良子・宮地 敬・林 義孝		545(7)
Down 症候群児の機能訓練を通じ ての一考察 矢内 伸夫・高橋ミツ子・嶋田 智明		549(7)
拮抗運動転換時間よりみた産性の 客観的評価の試み (アイスパ ック施行前後に於ける筋トル ク曲線の解析より)	嶋田智明・下畑博正	713(9)

〔第1回「理学療法と作業療法」賞論文〕

入 賞: 地域リハビリテーション活 動の中でのPTとOT	工藤 俊輔	850(11)
準入賞: 在宅障害者のリハビリテー ションサービス (一般病院の 立場から) 鈴木 洋子・鶴見 隆正・水上 恵子 畠中 泰司・米次 幸子		857(11)
" : 固縮, 痙縮に対する理学 療法とその効果について 大黒 篤・山下 政子・倉石 健二 谷岡 淳		863(11)

〔精神科 OT の実際〕

作業に安住	大橋 博	469(6)
大橋論文「作業に安住」を読んで 南雲与志郎・山田 州宏・福光 和子 山本 裕子・関 昌家		533(7)
無為自閉	富岡 詔子	719(9)
富岡論文「無為自閉」を読んで 藤沢 敏雄・見浦 康文・大江 基 池田 孝子・小林 夏子		871(11)

〔症例の検討と反省〕

右手関節離断に左片麻痺を合併し た症例 大塚 彰・森中 義広・渡辺 義男 権田 親房		555(7)
私の意見/「右手関節離断に左片麻 痺を合併した症例」を読んで	松村 秩	559(7)

〔チームの中の PT・OT〕

座談会/サイコロジストとPT・OT (司会)佐藤 剛・古牧 節子・黒田大治郎 松永 宗端・古里 正彦・大内 二男 谷合 義旦		150(2)
座談会/養護学校教師とPT・OT (司会)一柳 勝治・竹内 光春・川合 輝子 早川 正男・久保 英世・山ノ内明子		398(5)
座談会/ボケーショナル・カウン セラーとPT・OT (司会)花村 都・西川 実弥・三ツ木任一 松井 亮輔・沢 治子・三橋 保雄		638(8)

〔紹介〕

MTM法と書字分析……………嶋田 豊彦… 475(6)

〔海外だより〕

海外への道——Canada の場合…二又 達子… 311(4)

〔学会印象記〕

第10回日本作業療法士協会学会

矢谷 令子・金子 翼・寺山久美子

小平 憲子・生田 宗博…………… 794(10)

第11回日本理学療法士学会

郷田 英機・大黒 篤・細田 多穂

曾根 政富・岩崎 富子・清水 宏一

米田 睦男・山本 俊子・田中 文男

遠藤 敏裕・板場 英行…………… 881(11)

〔雑誌レビュー〕

1974年度 “Physical Therapy”

まとめ……………田村美枝子…60(1)

〔プラクティカル・メモ〕

頸損者のための食事用自助具…高田政夫・他… 289(4)

〔メディカルプロGRESS〕

生命科学の研究について……………石川 友衛…65(1)

生体観測について……………石川 友衛… 145(2)

視索上核の神経分泌細胞について

……………石川 友衛… 233(3)

消化管ホルモン・モチリン……………石川 友衛… 313(4)

微細電極位置の同定法……………石川 友衛… 381(5)

血液凝固・線溶系について……………石川 友衛… 465(6)

自閉症(1)—知覚・認知の障害……………佐々木正美…65(1)

〃 (2)神経学的徴候……………佐々木正美… 145(2)

〃 (3)心理治療……………佐々木正美… 233(3)

〃 (4)行動療法……………佐々木正美… 313(4)

〃 (5)インテグレイションとノ

ーマリゼーション……………佐々木正美… 381(5)

〃 (6)成因の検討……………佐々木正美… 465(6)

失語症(1)成因, 病巣部位と病型,

年齢……………福井 圀彦… 537(7)

〃 (2)利き手と失語症の回復,

および片麻痺の関係……………福井 圀彦… 633(8)

〃 (3)主症状……………福井 圀彦… 725(9)

〃 (4)付随症状(失計算, 発言

失行, 麻痺性構音障害) ……福井 圀彦… 785(10)

失語症(5)失語症と失認, 失行症の

関連……………福井 圀彦… 877(11)

〃 (6)失語症と痴呆との関連,

P T・O Tとして失語症患者

への接しかた……………福井 圀彦…1165(12)

頸椎後縦靱帯骨化症……………三好 正堂… 537(7)

肩手症候群……………三好 正堂… 633(8)

Eaton Lambert 症候群……………三好 正堂… 725(9)

多発性筋炎 Polymyositis ……三好 正堂… 785(10)

正常圧水頭症……………三好 正堂… 877(11)

Sympathetic Hyperreflexia ……三好 正堂…1165(12)

〔Q and A〕

「診療記録の書き方について」

……………A: 武富 由雄・Q: 西本 東彦…66(1)

「医療現場における医療技術者のあり方」

……………A: 早川 進・Q: 中屋 久長… 146(2)

「精神科O Tのあり方」

……………A: 矢内 伸夫・Q: 大丸 幸… 234(3)

「リハビリテーション学院の歴史と展望」

……………A: 小林 治人・Q: 小川 恵子… 314(4)

「脳性麻痺の知覚障害について」

……………A: 中司 利一・Q: 鷲田 孝保… 382(5)

「慢性関節リウマチの理学療法について」

……………A: 岡崎 健・Q: 松沢 博… 466(6)

「熱傷治療の現状とP Tについて」

……………A: 西 重敬・Q: 三橋 保雄… 538(7)

「教育工学・プログラム学習・教育機器について」

……………A: 沼野 一男・Q: 加藤 栄昭… 634(8)

「リハビリテーション専門医についてお聞かせ下さい」

……………A: 博田 節夫・Q: 山口 光子… 726(9)

「Day Care についてお聞きしたいのですが」

……………A: 安達 克巳・Q: 時武 治雄… 786(10)

「ソーシャルワーカーについて, いろいろお

聞きます」

……………A: 樺島 春行・Q: 市川 和子… 878(11)

「PT でスポーツ(ボクシング)コーチを行なっていて」

……………A: 小林 紘二・Q: 田村 茂…1166(12)

〔本の紹介〕

秋元波留夫編著「作業療法の源流」

……………鈴木 明子…68(1)

T.A. Harris 著「I'MOK-YOU'REOK」

……………菊池恵美子…68(1)

大川原潔・他編集「養護・訓練指導事典」	
.....西村 和紘	148(2)
Nancie R. Finnie 著「Handling the young cerebral palsied child at home」	
.....今川 忠男	148(2)
Daniel Ruge 編「Spinal Cord Injuries」	
.....馬場 将夫	236(3)
谷口芳三著「作業改善の技術」	嶋田 豊彦 236(3)
福井圀彦著「老人のリハビリテーション」	
.....古里 正彦	316(4)
子供の遊びと手の労働研究会編	
「子どもの遊びと手の労働」	森山 早苗 316(4)
荒木淑郎著「神経内科学」	三好 正堂 384(5)
E.M. Macdonald 他著・赤津隆 監修	
「作業療法—理論と実際」	寺山久美子 384(5)
日本医療技術者団体連絡協議会編	
「沈黙の医療戦士—医療技術者の実態と役割」	鈴木 正彦 468(6)
J.J. Walsh 著「Understanding Paraplegia」	
.....嶋田 智明	468(6)
島村宗夫・他編「運動の神経機構とその障害」	
.....西本 東彦	540(7)
沼野一男著「教授工学入門」	小川 恵子 540(7)
Sir Ludwig Guttmann 著「Spinal Cord Injuries : Comprehensive management and research」	博田 節夫 636(8)
Fred N. Kerlinger 著「Foundations of Behavioral Research」	鈴木 明子 636(8)
橘寛勝著「手—その知恵と性格」	寺山久美子 728(9)
B.F. Skinner 著「A program for Self-Instruction. THE ANALYSIS OF BEHAVIOR」	鷺田 孝保 728(9)
Basmajian, J.V. 著「Grant's method of anatomy」	明石 謙 788(10)
B. & K. Bobath 著「Motor Development in the Different Types of Cerebral Palsy」	鷺田 孝保 788(10)
B. & K. Bobath 著「Motor Development in the Different Types of Cerebral Palsy」	紀伊 克昌 880(11)
「都立心身障害者センター研究報告集 (7)」	沢 治子 880(11)
都留春夫著「病者のこころの動き」	福屋 靖子 1168(12)
村木朝司著「だれにもできる手作りの陶芸入門」	大橋 博 1168(12)

[FORUM フォーラム ふぉーらむ]

脊髄損傷患者の歩行訓練について	
思う	橋元 隆 64(1)
鏡の中の自分	丸谷 隆明 107(2)
雑感	福崎不二夫 142(2)
運動療法指導上の問題点	馬場 将夫 199(3)
「せんせ、せんせ」と呼ばれても	
.....倉石 健二	211(3)
OTとして思うこと	原田 文子 232(3)
「頭脳県外流出」を憂える	伊藤日出男 243(3)
P Tと結婚—女性の立場から	北村 百江 406(5)
医療監視要綱に思う	中屋 久長 411(5)
作業療法の歴史的意義	里村 恵子 544(7)
講習会の企画・運営に関係してい	
ておもうこと	奈良 勲 578(8)
ハイジの心と私の現実	北村 百江 595(8)
ある作業療法士のたわごと	安達 克巳 598(8)
運動器具の改良	野々垣嘉男 686(9)
疑義・重度片マヒ患者	木村莊兵衛 699(9)
病める者の中でキリストは何をし	
たのか	奈良 勲 706(9)
めざすOT像	角野 妙子 862(11)

[資 料]

第11回P T・OT国家試験 (1976年度) 問題・模範解答 (I)	462(6)
〃 (II)	560(7)
〃 (III)	650(8)
〃 (IV)	802(10)
診療報酬点数改正について	大森文太郎 729(9)

[書 評]

Bent Ebskov 著・萩島秀男訳	
「上肢の運動学」	和才 嘉昭 365(5)
大塚哲也著「写真でみる片麻痺のリハビリテーション」	天児 民和 930(12)

[その他]

第11回日本理学療法士学会プログラム	323(4)
第10回日本作業療法士協会学会プログラム	328(4)
[OT協会ニュース]	70(1), 355(5), 564(7), 718(9)
[文献抄録]	69(1), 143(2), 330(4), 412(5), 413(5), 808(10), 1163(12)